

蓼科高同窓会報

発行
蓼科高等学校
同窓会事務局
0267-56-1015



師走となり、会員皆様には、ご健勝にてご活躍のことと拝し、お慶び申し上げます。

平素より、蓼科高等学校同窓会の活動にご理解とご協力を賜っておりますことに対し、感謝申し上げます。この次第です。

私は永年ご苦勞いただいた宮下前会長の後を受け、平成23年度から同窓会長としてお世話になっております。両角正芳です。もとよりその任にあたる器では御座いせんが、役員皆様を始め、学校・行政等関係皆様方の温かいご指導・ご支援のお蔭を持ちまして、曲がりなり



創立百十五年の歴史と伝統ある蓼科高等学校の第三十一代校長を拜命致しました。長田芳子と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

日頃より、両角同窓会長様をはじめ同窓会の皆様には本校の教育活動にご理解、ご支援頂き深く感謝申し上げます。

また、この度の、記念すべき蓼科高校同窓会報第一号の発行、御祝い申し上げます。記念の年に寄稿させていただきますこと光栄の至りに存じます。

母校の更なる隆盛を願って

同窓会長 両角 正芳

にも大役を務めてくることができました。改めて、厚く御礼申し上げます。

さて、我が母校は、明治三十三年、芦田村ほか二ヶ村学校組合立蓼科補習学校として開校以来、幾多の変換を経て百十五年の歴史を刻んで参りました。

この間、一万余名の有為な人材を輩出し、地域社会の発展に寄与して参りました。

しかしながら、人口減少社会がもたらす少子化は、小規模な地域高校にとって、その存続が危ぶまれる主因となっております。

そんな中、立科町始め関係行政

きらりと光る蓼高生

学校長 長田 芳子

蓼科高等学校は、初代校長保科百助(五無齋)先生の教育理念である「すべての子どもを輝かせ、自分の未来に大きな希望を抱けるような教育」を受け継ぎ、一人ひとりに応じた丁寧な指導で学力向上を目指し、個性を大切にしながら人権意識を高め、地域と共に学ぶ開かれた学校として「きらりと光る蓼高生」の育成に取り組んでいます。

平成二十五年度からの学習指導要領の改訂に伴い、「進学コース」「地域創造コース」「地域貢献コース」「福祉コース」の四つのコースを設け、生徒の進路希望に沿い、キャリア教育

機関等の絶大なるご支援と先生方のご努力によって、3クラス維持が図られておりますが、今後の生徒数の減少を考えますと、予断を許さない状況下にあります。私たち同窓会も会員各位の力を結集し、輝かしい歴史と伝統を持つ蓼科高等学校が特色ある地域高校として更なる発展を遂げるため、積極的な活動を展開して参ります。

その一環として、会員皆様と同窓会の活動や学校の近況などを知っていただきたく、同窓会報第一号を発行いたしました。ご覧いただき、今後の同窓会活動にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、会員皆様方のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。会報発行に当つてのご挨拶といたし

等時代のニーズに合った学習を展開しているところです。

豊かな自然に囲まれ、学習に集中できる恵まれた環境の中、町をはじめ、地域の方々からの物心両面におけるご支援により、蓼科高校ならではの学びが実践できていることに感謝しております。

教育を取り巻く状況や課題は山積し、めまぐるしい動きの中にあります。高校生として身に付けるべき「確かな学力」「豊かな心」「健康やかな体」を念頭に、地域や社会に貢献できる人材の育成を目指し、全職員、一丸となり取り組んで参ります。

同窓生の皆様からの力強い支えを活力に励んで参りますので、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。